

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

最良の作品を世に遺し、社会に貢献する。品質経営に継続して取り組み、社会的価値を高める。

売上高
1兆4,050億円

営業利益
545億円

経常利益
595億円

当期純利益
380億円

② 中長期の経営戦略

1. 中核事業戦略

国内建築・海外建築・開発・土木・建物管理・新規の6事業で、ライフサイクル視点により価値を提供。

2. 経営基盤戦略

技術・デジタル・人材・広報ブランドで中核事業を横断的に支え、グループ連携を強化。

3. 環境戦略2050

リジェネラティブ・ワークスで共創し、つくる・まもる・いかすのライフサイクル視点を展開。

4. 重点3分野

環境共創・技術革新DX・人材活躍に、リジェネラティブな考え方で統合的に取り組む。

③ 対処すべき課題

① 収益性確保

- ・建設資材価格・労務費上昇への対応が重要課題
- ・国際情勢不確実性と通商政策への注視が必要

② マテリアリティ設定

- ・品質の高いものづくりとサービス提供
- ・環境共創
- ・技術革新・DXと人材活躍の4カテゴリーで活動展開

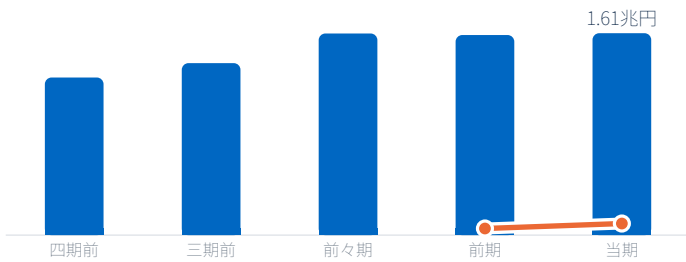
③ 価値創造推進

- ・長期安定収益拡大でグループの成長投資原資を創出
- ・建設の枠を超えた総合ソリューションで社会課題解決を実現

面接で使えるポイント

- ・経営理念『最良の作品を世に遺し、社会に貢献する』のもと、品質経営で社会的価値を高める点。
- ・2026年12月期に売上高1兆4,050億円、営業利益545億円を目標とした中期経営計画2030を推進中。
- ・環境共創・技術革新DX・人材活躍の重点3分野にリジェネラティブな考え方で統合的に取り組む姿勢。

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高

1.61兆円

営業利益率

5.8%

財務健康度

46点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 53.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

